

議会

122

3月定例議会号

だより

令和2年5月

発行 佐呂間町議会



TOPIC

町政について議員が問う

一般質問「資源ごみの収集について」など

まちで輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔でまちを元気に！「レイアロハフラ佐呂間サークル」の皆さん

特集 まちの予算をみる

新年度町はどんなことをするのか予算の使い道を徹底審議！

令和2年度当初予算審議

<元気にお返事できるかな！？>

保育所で今年の入所式が行われ、先生に名前を呼ばれた新しいお友達が1人ずつ元気に返事をしていました。
(令和2年4月1日撮影)



あなたと町議会を結ぶ情報誌

さろま

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第1回定例会

- ・審議した議案④
- ・町長行政報告

第1回定例会

- ・審議した議案③

から、新たな指定管理者の募集を行ったところ、株式会社愛生の杜以外の応募が無かったことから、引き続き指定管理者とすることを決定しました。

- ・管理を行わせる施設
悠林館「かぶとむし」
- ・指定する指定管理者
株式会社愛生の杜
代表取締役 寺山 加奈恵
- ・管理を行わせる期間
令和2年4月1日から
令和12年3月31日

■物産館「みのり」に係る指定管理者の指定
物産館「みのり」の指定管理者として、株式会社ドリームフロンティアを指定した期間が令和2年3月31日で終了することから、引き続き株式会社ドリームフロンティアを指定管理者とすることを決定しました。

- ・管理を行わせる施設
物産館「みのり」
- ・指定する指定管理者
株式会社
ドリームフロンティア
代表取締役 高橋 俊道
- ・管理を行わせる期間
令和2年4月1日から
令和12年3月31日

②認知症の入居者の収入申告義務を免除。

③敷金を入居中でも弁済に充てることができるように見直し。

この条例は令和2年4月1日から施行されます。

■簡易水道設置条例の一部を改正する条例の制定
現在町で運営している佐呂間、浜佐呂間、米・若佐・知来の3つの簡易水道を、佐呂間簡易水道として1つの簡易水道に事業統合することになったことから、関係する町の条例を改正するものです。

■簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
国において「水道法施行令」の一部が改正されたことに伴い、関係する町の条例を改正するものです。

■農業振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止
農業振興基金は、本町の農業振興施策の総合的な推進を目的に平成17年2月に設置され、これまで町内の農業振興

■権利の放棄
町営住宅の家賃及び水道料金の債務で、債務者の死亡後に時効期間が満了したものと、合計20件の使用料債権の放棄を決定しました。

■町道路線の変更
町道の終点について、次のとおり変更することを決定しました。

①佐呂間29号道路
変更前 宮前町3番地の26
変更後 宮前町3番地の33

②幸町道路
変更前 幸町6番地の16
変更後 宮前町4番地

事業や町有牧野の維持管理事業などに用いてきましたが、平成28年に基金残高がほぼ底を付き、今後新たな積立を行うことや事業に用いる予定がないことから、基金に関する条例を廃止するものです。

なお、基金に残っている残金については全額を町の会計に繰入し、一般財源となりま

■固定資産評価審査委員会委員の選任同意
固定資産の価格に関する不服申立てを審査する固定資産評価審査委員会委員として、次の方々の再任について同意しました。

◎共立 八矢憲一氏
◎永代町 榎本 彰氏

どちらの方も任期については令和2年3月22日から令和5年3月21日までの3年間であります。

同意

町長行政報告 (要旨)

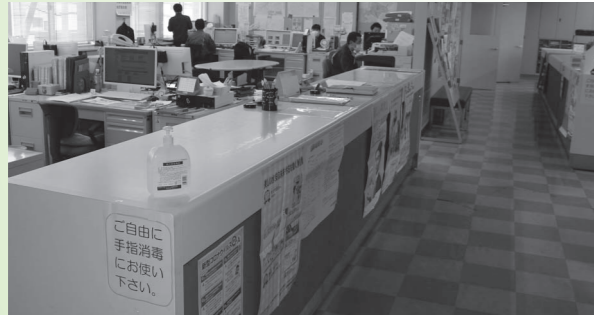
■新型コロナウイルス感染症の対応
新型コロナウイルス感染症について、町内での発生は確認されていないものの道内で感染が拡大しています。こうしたことから、北海道及び北海道教育委員会から小中学校の臨時休校の要請があり、本町でも2月27日から臨時休校としたところでありましたが、さらに国からも臨時休校の要請があり、春休み前まで休校を延長いたします。

また、町や教育委員会が主催する3月中の事業については中止や延期を決定、老人福祉センター、ホワイトドームを3月末まで休館、町民センターなど公施設での不要不急の行事の取りやめ、公施設への手指消毒アルコールの配置、特別養護老人ホーム愛の園での緊急以外の面会の制

限、その他の町内介護施設でのマスク着用や手指消毒の励行などを行っております。

なお、2月28日に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を役場内に設置し、町として対策を総合的かつ強力に推進することといたしました。

今後新型コロナウイルス感染症の終息時期が見えないなか、地域の皆さまには何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



役場の各窓口にも消毒用アルコールが設置されています

その他

■人権擁護委員候補者の推薦
法務大臣から委嘱を受け、各市町村で人権相談などの活動を行う人権擁護委員として、次の方々を法務大臣へ推薦するため議会に意見を求められ、どちらの方も適任いたしました。

◎永代町 伊藤雅晃氏
◎宮前町 原 昭広氏

■専決処分の承認
令和元年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分について承認しました。

4500万円が追加され、予算の総額が50億2526万円になりました。

【主な歳入】
ふるさと応援事業寄付金 8500万円

■悠林館「かぶとむし」に係る指定管理者の指定
悠林館「かぶとむし」の指定管理者として、株式会社愛生の杜を指定した期間が令和2年3月31日で終了すること

■財政調整基金繰入金 ▲4000万円

【主な歳出】
・公金クレジット決済手数料 437万円
・ふるさと納税業務代行委託料 4113万円

■ふるさと納税の状況
令和元年度のふるさと納税(ふるさと応援事業寄付金)は、本年1月末の時点で件数が1万3000件、金額は1億5080万円と、平成30年度実績5520万円(※)を3倍近く上回る成果が出ています。

今回の補正予算について、歳入は最終的な寄附見込額1億5700万円と当初予算との差額を増額するもので、歳出については増加した寄附者への返礼品の発送業務など、関連する経費を増額するものです。

※宮崎県都農町からの寄附金7500万円は除く。

諮問

ふるさと納税に関する予算補正



ことしの主な事業

町内の各家庭に個別受信機を設置する
防災行政無線整備事業を実施
 一般会計は前年度比5.7% 2億8343万円の増額



災害発生時に避難情報が受信機に届けられます

防災行政無線の整備
2億9810万円

防災行政無線を現在のアナログ方式からデジタル方式へ変更する工事と合わせて、災害時に町民へ正しい情報を伝達し、安全な避難誘導などを行えるようにするため、町内各家庭へ防災行政無線の個別受信機を設置します。

◎事業内容

- ・親局 1局
- ・基地局 2局
- ・移動系無線 30台
- ・屋外拡声子局 3局
- ・個別受信機 2500台



大型免許取得者の確保が急務となっています

大型自動車免許 取得費用への助成
202万円

大型自動車等の運転業務従事者の不足が町内で深刻化していることから、町内の事業所が従業員に大型自動車等の免許を取得させるための費用を負担する場合、事業所に対し対象経費の3分の2を上限に町が助成します。

◎事業内容

- ・大型自動車免許 5名分
- ・大型特殊自動車免許 2名分
- ・大型自動車第二種免許 1名分

- その他の主な事業**
- 職員住宅新築工事 職員住宅(1LDK)2棟 4戸の新築 7592万円
 - 地区集会施設整備費補助金(漁村環境改善総合センター) 給水給湯設備や暖房設備等の改修工事に対する補助 715万円
 - 佐呂間保育所エアコン設置工事 エアコンのない教室への設置工事 707万円
 - 児童公園遊具更新工事 児童公園の滑り台・シーソーの更新 431万円
 - 多面的機能支払交付金事業 農用地等の保全管理活動に対する補助 4966万円
 - 道営畑地帯総合整備事業(若佐地区) 実施設計、送水管敷設 9381万円
 - 夕陽が丘道路改良舗装工事 改良舗装140m 2557万円
 - 長寿命化修繕事業 橋梁23橋の点検及び共立橋の補修 4750万円
 - 富武士漁港公衆トイレ改修工事 外壁・屋根の改修及び和式便器の洋式化 265万円
 - 漁港修築事業地元負担金 浜佐呂間漁港の維持保全等 3173万円
 - 地場産品開発研究センター 蒸気ボイラー取替工事 蒸気ボイラー取替 548万円
 - 浜佐呂間第3団地外壁等改修工事 外壁・サッシ等を改修 1882万円
 - 浜佐呂間小学校改修工事 校舎及び体育館の屋根・外壁塗装など 1525万円

特集 まちの予算をみる

令和2年度 当初予算

令和2年第1回定例会において、次の当初予算が提案されました。

- 令和2年度一般会計予算
- 令和2年度簡易水道特別会計予算
- 令和2年度国民健康保険特別会計予算
- 令和2年度公共下水道特別会計予算
- 令和2年度介護保険特別会計予算
- 令和2年度介護サービス事業特別会計予算
- 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算

提案された各会計予算について、議長を除く9名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、付託して審議を行うことを決め、6日に開催された特別委員会では委員長に但木委員、副委員長に船木委員を選任し、9日に集中審議を行った結果、原案可決となりました。

その後、11日の本会議において、但木委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、原案のとおり可決いたしました。

予算特別委員会 3月6日・9日

令和2年度 各会計当初予算

会計区分	2年度当初予算	元年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	52億1561万円	49億3218万円	2億8343万円	5.7%	
特別会計	簡易水道	3億5321万円	4億6585万円	▲1億1264万円	▲24.2%
	国民健康保険	8億9052万円	8億2716万円	6336万円	7.7%
	公共下水道	2億4290万円	2億2533万円	1757万円	7.8%
	介護保険	5億2412万円	5億2621万円	▲209万円	▲0.4%
	介護サービス事業	2億5896万円	2億6236万円	▲340万円	▲1.3%
	後期高齢者医療	9137万円	9194万円	▲57万円	▲0.6%
合計	75億7669万円	73億3103万円	2億4566万円	3.4%	

予算特別委員会 委員長報告 (要旨)

令和2年度予算について、最小の経費で最大の効果が図られる施策・事業となっているが、前年度決算の意見が反映されているかなどに重点をおき、審査を行いました。

歳入については予算の42%を占める地方交付税が増額、町税も農林水産業の好調を受け、前年度から増額となっており、収支のバランスは各種基金の繰り入れにより図られているが実情です。

歳出については新たな行政課題も考慮し、事業の必要性・妥当性に十分な配慮がなされています。

地方が自らの判断と責任において課題に取り組み、住民の営みを豊かにすることは当然ですが、緊急性・将来性・効率性などの精査を行い、安定的な財政運営と安全で安心な町づくりを願うものであります。

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

保健福祉課参事 新型コロナウイルスに関する対策として、利用者施設へ来られたとき、また施設から迎えに行く利用者については迎えに行った際に体温検査を行っています。

その他にも利用者に対しては、マスクの着用と手洗いがいの励行、調子の悪い方や熱のある方には利用を控える

新型コロナウイルス対策

各地域で1人暮らしをしている約230世帯に対し、社会福祉協議会が月に1回発行しているふれあい郵便を民生委員が訪問して手渡しすることで、安否確認や相談事の聞き取りを行うなどの活動を行っています。

佐藤 サングァーデンさろま デイサービス事業運営費補助金に関連して伺いますが、新型コロナウイルスの関係で高齢者施設で利用の制限がされていますが、サングァーデンさろまのデイサービスはどのような状態になっていますか。

衛生費

クリニックさろまでの薬の処方

佐藤 クリニックさろまに要する経費に関連して伺いますが、現在クリニックさろまに通院している高齢者の中には薬を処方してもらっただけでいいという方もいると思います。

佐藤 体調が悪いためデイサービスを休んでいる方へ、訪問してのケアなどは行われていますか。

副町長 患者がクリニックさろまに行かなくても薬の処方箋を出してもらえないかということですが、今新型コロナウイルス対策として、特別な場合はそのような対応を取るようにとの通知が国から来ています。

ただしこれはあくまでも例外であり、どうしても必要な方はまずクリニックさろまへ電話をしていただき、その方がこの対策に該当するのかわ



利用者の視点に立った薬局の利便性の向上が求められています

もらうような対応はできないのでしょうか。

高橋 町道等除雪業務委託料について、本年度は降雪が少なかったため請負業者による除雪の出動回数も少なくなり、委託料収入が入ってこなかった請負業者が苦しい状況であると聞いています。

来年度以降、除雪出動が少なくなってしまう場合の請負業者への対応をどのように考えているか伺います。

土木費

除雪請負業者に対する補償

断した後、院長がこのような対応ができる患者かどうか判断する必要があります。

現在クリニックさろまでは患者本人が病院に行けない場合、家族の方（施設入居者）については施設の職員に代理で来てもらい、患者の状態を聞いて薬の処方箋を出すという対応を行っていますので、まずはこの方法で対応できないか検討していただきたいということです。

ように指導しています。

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

3月9日に開催した予算特別委員会で、令和2年度予算に関する質疑が行われました。

(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

令和2年度予算の使い道を徹底審議!

予算特別委員会質疑の中から

総務費

役場庁舎の電気契約

佐藤 役場庁舎の光熱水費の予算について、電気は北海道電力から購入しているのでしょうか。

総務課長 北海道電力を含めた複数の電力会社で見積もり合わせを行い、最も安価だった王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社から現在購入しています。

佐藤 新聞報道等で北海道電力の価格は高いと言われていますが、現在の会社と比較してどの程度違いがありますか。

総務課長 電気使用量によって一概には言えませんが、当初の比較では7〜800万円の差がありました。



庁舎は電力会社の見直しやLED化により節電に努めています

今後とも状況を見ながら契約先を決定していきます。

JR石北線の今後

船木 北海道鉄道利用促進環境整備石北線支援負担金として10万円が計上されているが、石北線は赤字が多く、今後この支援額は増えるのか。

ていくのか状況を教えてください。

企画財政課長 この負担金はJR北海道の赤字補填のためではなく、鉄道の利用促進事業として北海道と鉄道沿線の市町村が総額2億円をJR北海道に対して負担するもので、オールドホーツクで負担しようということ、JR北海道を利用する市町村としない市町村で負担割合は違いますが、管内の全市町村で負担をしています。

なお、この負担金は令和元年度から2年間のみの措置であります。

船木 負担金の措置が終わる2年後、石北線は存続しているのか、今後について何か聞いていないですか。

企画財政課長 今後、北海道は赤字補填は行わずに、国に負担を求めていくと言われ

民生費

民生委員の活動状況

加賀屋 民生委員協議会運営費補助金について、民生委員は現在何名おられるか、どのような活動をされているのか伺います。

保健福祉課長 民生委員は現在25名おり、児童の問題に対応する主任児童委員2名を含め、全27名の委員で協議会は組織されています。

基本的に2ヶ月に1回協議会を実施し、その中で委員間の情報共有を行っている他、

第1回定例会

第1回定例会

2名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

・特集 まちの予算をみる

一般質問

【質問】 資源ごみの空き缶・ペットボトルの収集は現在月1回行われていますが、夏場は様々な産業で野外での作業が多くなり、飲料の消費が増加するため収集量も増加することから、各家庭でごみを蓄積しなくてもいいように、収集を月に2回にすることはできないでしょうか。

その他プラスチックは月に2回収集していますが、遠軽地区広域組合の資料によると令和元年度の収集量は平成29年度と比べると減少しておりますが、その他プラスチックの2回目の収集日に出されている量は少ないことから、一緒に空き缶やペットボトルの

【答弁】 回収を行うことを、ゴミ収集委託業者と検討することはできないかお伺いします。

平成29年10月に燃やすゴミの焼却施設である遠軽クリーンセンターが稼働したことから、汚れの落ちないその他プラスチックは燃やすゴミとして処理することになったことから、燃やすごみの収集量が増加し、資源ごみの収集量は減少しています。

現在「ゴミ」の収集はじんかい収集車2台、トラック2台、収集人員6名で行っており、これまでも遠軽クリーンセンター稼働後のごみ収集について見直しを協議してきましたが、現在の体制では資源ごみ

【質問】 令和2年度当初予算の中で、児童館プレイルーム、佐呂間保育所の一部教室、特別養護老人ホームのロビー、佐呂間小学校パソコン室にエアコンを設置する各事業が計上されていますが、今後の地球

【答弁】 エアコンは限られた公共施設のみ設置されていましたが、地球温暖化対策として令和2年度は多くの施設に設置することにいたしました。

計画的なエアコンの設置について現状では予定しております、その都度検討してまいります、たいと考えています。

【答弁】 佐呂間町漁村環境改善総合センターについては昨年佐呂間漁組へ無償譲渡しており、今回の補助事業は工事の内容等についても佐呂間漁組の要請により実施するものです。

エアコン設置については今後要請があれば、そのときに協議してまいります。

資源ごみの収入について



三田 真美 議員

町長：現在の収集体制では収集回数が増加はできない

その他プラスチックの収集量が減少した分、空き缶・ペットボトルの収集回数増加を

船木 高橋委員の質問に関連して伺いますが、札幌市では除雪作業が少なかつたことに対する請負業者



この冬は降雪が少なく除雪作業があまり行われませんでした

建設課長 本年度は降雪があまりにも少なかったため、町道の除雪請負業者から町に対し補償の要望がありました。そこで町としては町内の除雪体制を維持するため、過去5年間の除雪出動時間の平均の6割に当たる委託料を補償することにしました。

来年度以降についても同じ考えで対応していきたいと考えています。

管理課長 令和元年度の実績ですが、参加希望者は43名で、全9回開催する予定でしたが実際は7回の開催となり、1回の平均参加者は25名でありました。

三田 小学校費に関連して伺いますが、令和元年度教育行政推進方針の中で、小学生の家庭学習を支援する学習サポート事業を実施するとありましたが、本年度の実績と令和2年度も継続していくのか伺います。

教育費

小学生学習サポート事業

への支援として、事業費の約8割を補償すると聞いていますが、本町は6割の補償で間に合うのでしょうか。

副町長 補償の割合については、オホーツク管内の状況、他の自治体の事例などを調べて検討した結果であり、各請負業者にも納得していただいています。

加賀屋 若佐小学校のスケートリンク造成費補助金として30万円が計上されていますが、ブルームボールのリンク造成費補助金60万円と比較すると小額です。

若佐小学校のスケートリンク造成

「小学生学習サポート事業」 町内の各小学校の児童を対象に、家庭学習の習慣化とスマートフォンなどのデジタル機器から離れネット依存を未然に防ぐことを目的に、概ね毎月1回第1土曜日の午前中に、町民センターにおいて学習会を開催する事業です。

3時間に分かれており、1時間目は教師や高校生のサポートを受けて、児童が持参した学習道具を用いた学習、2時間目は町の語学指導助手による英会話、3時間目は読書が行われています。

本事業は令和2年度も継続して実施したいと考えています。

教育長 ブルームボールのリンク造成には、リンクを囲む壁などに関する費用がかかるため、より高額になっていきます。

PTAが負担している機械や燃料に関する経費は30万円の補助金の中に含まれていますが、この補助金額では造成が難しく、実際にこれだけの経費がかかっているため検討してほしいという要望がPTAからありましたら、協議はしたいと考えています。



PTAの努力により整備されている若佐小スケートリンク

議会ニュース

第1回定例会

・議会の活動状況

・一般質問②

議会の活動状況

令和2年2月

- 2月18日(火)
 - ◎産業文教常任委員会
- 2月20日(木)
 - ・オホーツク町村議会議長 会役員会(北見市)
 - ・オホーツク町村議会議長 会第2回定期総会(北見市)
 - ・オホーツク町村議会議長 会懇談会(北見市)
- 2月21日(金)
 - ◎総務福祉常任委員会
- 2月27日(木)
 - ◎町立診療所に関する特別委員会
 - ◎議会活性化等特別委員会
 - ◎基本条例小委員会

令和2年3月

- 3月2日(月)
 - ・第1回遠軽地区広域組合 議会定例会(遠軽町)
- 3月3日(火)
 - ◎議会運営委員会

令和2年4月

- 4月13日(月)
 - ◎第2回全員協議会
- 4月16日(木)
 - ◎議会広報特別委員会
 - ◎議会監査
 - ◎議会役員会
- 3月4日(水)
 - ◎町議会第1回定例会
 - ◎総務福祉常任委員会
- 3月5日(木)
 - ◎町議会第1回定例会
- 3月6日(金)
 - ◎町議会第1回定例会
- 3月9日(月)
 - ◎予算特別委員会
 - ◎第5期総合計画審査特別委員会
- 3月11日(水)
 - ◎町議会第1回定例会
 - ◎議会広報特別委員会
 - ◎議会運営委員会
 - ◎町議会第1回臨時会

議会懇談会

開催延期のお知らせ

町議会では町民の皆様にご報告し、皆様から議会に対するご意見などを聞かせていただくため、議会懇談会を例年4月に開催しております。

今年も開催に向け準備を進めておりましたが、ご承知の通り全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、多数の人間が集まるイベント開催について自粛要請が国から出されたことから、今年の議会懇談会については事態が終息するまで開催を延期することにいたしました。

開催が可能になりましたら改めてお知らせいたしますので、その際は多くの町民の皆様のご参加をお願い申し上げます。



第2回定例会は6月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報6月号の折込みチラシをご覧ください。



但木 早苗 議員

子育て支援のさらなる充実をもとめて

保育料無償化により浮いた財源でインフルエンザ予防接種の助成拡大を

町長：財政が厳しいため予防接種は今後とも現行の助成で進めたい

【質問】 昨年10月から幼児教育・保育の無償化が実施されたことに伴い、これまで町独自に実施してきた保育料の軽減措置の財源を活用し、さらなる子育て支援ができないでしょうか。

町では町民税の非課税世帯及び生活保護世帯の子供たちに対してインフルエンザの予防接種を無料とする助成を行っていますが、今回の財源を用いて助成を拡大することはできないかお伺いします。

【答弁】(町長) 本町の財政は厳しい状況にあり、高校卒業までの医療費無料化も継続しているため、

保育料無償化により浮いた財源を活用して別の子育て支援を充実するのは不可能でありますが、少子化が進行する中で子ども・子育て支援対策は重要だと認識していることから、今年4月から放課後児童クラブを年間通じて午後6時まで開設、児童館プレイルームへのエアコン設置、児童公園の遊具更新など、子育て世代の保護者の意見を取り入れた子ども・子育て支援事業を進めていきます。

したがってインフルエンザ予防接種費用については、今後現行とおりの助成体制を進めたいと考えています。

「町独自の保育料補助金と国による保育料の無償化」 町では平成28年度から独自の子育て支援策として「子育て支援保育料補助金」を実施し、保育料の2分の1を助成していましたが、国による少子化対策として子ども・子育て支援法の一部が改正され、令和元年10月から3〜5歳児と町民税非課税世帯に属する0〜2歳児の保育料が無償化されることになりました。

この国による保育料の無償化により、町独自の保育料補助金の対象者が減少したため、令和2年度の子育て支援保育料補助金の当初予算額は、令和元年度予算と比較して約407万円減少しています。

町政執行方針を受けて

【質問】 令和2年度町政執行方針の中で、川根町長3期12年を総括するような記述だと感じられました。

令和2年9月11日をもって任期満了となる町長の今後の動向についてお伺いいたします。

【答弁】(町長)

今回3期12年を一つの区切りとして、町政執行方針にこれまでの期別ごとの計画・実績を記述したものであり、意図はありません。

次期町長選挙につきましては自らの出処進退をしっかりと決めてから、後援会に一任し協議していただく運びですが、後援会の皆さんには3月末から4月の頭と伝えていきます。

なるべく早く自分の意思を決定したいと考えており、そう遅くない時期にということでしたので、ご理解いただいております。

町で輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔で
まちを元気に!

Vol. 25

「レイアロハフラ」



ALOHA

私達レイアロハフラ佐呂間サークルは現在、小学生13名、中学生3名、大人3名の計19名で、レイアロハインストラクター・押野恵先生のご指導のもと、「楽しく・しなやかに美しい踊り」をモットーに頑張っています。練習し活動しています。

主な活動としては佐呂間芸術祭をはじめ町内外の様々なイベントへの参加や町内施設の慰問を行っています。そのたびに町民の皆さんから暖かい拍手やご声援をいただき、とても励みになっております。

そのほか2年に1度、旭川で約600人が参加する大きな発表会が開催されており、私達は昨年も参加して高い評価をいただきました。

こちらもぜひ見に来ていただけると嬉しいです。

普段は月に2回、1時間のレッスンをしておりますが、子供は楽しく和気あいあい、大人は日々の生活の疲れを癒し笑顔でいっぱいになるようなレッスンです。

私達と一緒にフラダンスを踊りませんか。見学だけでも大歓迎ですので、お気軽にお問い合わせください。

■会員募集中!

◎レッスン日

毎月 第1・第3月曜日
幼児・小学生低学年 18時〜

小学生高学年・中学生 19時〜

大人 20時〜21時30分

◎レッスン場所

町民センター

◎対象年齢

4歳〜



議員の
ことば

今年に入り新型コロナウイルスの感染が日本国内においても発生していますが、現在パンデミック状態となっており、全ての産業において経済的な影響が出ているほか、今年開催予定でありました東京オリンピック・パラリンピックについても開催が延期されるなど、新型コロナウイルスの一日でも早い終息を願うものであります。

本町におきましては今年度も安心・安全な町づくりのため、住民一人ひとりの生活に对应した施策の充実が求められており、議会としても町と連携を密にして地域の諸課題に取り組み、誰もが安心して住む喜びが実感できるまちづくりを目指して参りたいと思います。



吉野 正剛

編	集
議会特別委員	報会委員
委員	委員長
委員	副委員長
委員	委員
山内一弘	佐藤昭男
	三田真美
	小松正義
	土田正剛

発行 佐呂間町議会

〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地の1

01587-2-1291 FAX 2-3368 (役場兼)